

第1回全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

場所：富山県富山市岩瀬ソフトボール場 C グラウンド

期日：2020/10/31

▼1回戦

環太平洋大学	1 0 0 0 0 0 3	4
神戸学院大学	0 0 0 0 0 0 0	0

環：井上(ゆ) - 岩松

神：奥田 - 壇上

本塁打：岩松(環)

三塁打：谷口(ま)(環)

戦評

初回1番中村が四球を選び、盗塁を決めて無死2塁のチャンス。2死となったが4番谷口(ま)がライト戦を破るタイムリースリーベースを放ち1点を先制。

しかし、これ以降は両投手が好投しスコアボードに0が続く。迎えた7回表、この回先頭の轉法輪が四球で出塁し、盗塁と悪送球で無死3塁。続く谷口(み)も四球で出塁して無死1.3塁、二死となったが9番岩松がレフトスタンドへスリーランホームランを叩き込み4-0とリードを広げる。

7回裏の守りで2者連続の安打を許し無死1.2塁のピンチ。三振で1死1.2塁、次打者を投手ゴロに打ち取り二死1.3塁、最後は三振で締めて1回戦を突破した。

先発の井上(ゆ)は、被安打4、11奪三振の力投だった。打線は広いゾーン苦戦した形となり安打に抑えられたが、少ないチャンスに持ち前の長打が絡み4点を奪った。

▼準々決勝

環太平洋大学	00000001000	1
日本体育大学	0000000101×	2×（10回タイブレーク）

環：景山 － 岩松(7回)宮平(4回)

日：小山 － 調

三塁打：西本

戦評

迎えた準々決勝戦は、インカレ 3 連覇中で全日本代表投手を要する日本体育大学と対戦。初回から 7 回まで、どちらも譲らない投手戦の様相。

8 回表タイブレーク、代走の玉城、1 死 3 塁から 1 番中村へのエンドランが見事に決まり 1 点を先制。

しかし、その裏、1 死 3 塁からライト前にタイムリーを打たれて同点。その後、両投手が好投し、11 回表に無死 1.2 塁と攻めたが三者三振に打ち取られた。

11 回裏に、1 死 3 塁からスクイズによりサヨナラゲームとなった。

1 年生の景山はこの試合を一人で投げ切り被安打 6、13 奪三振の 2 点に抑え良い経験ができたと思う、打線は 1 点を奪ったものの、日体大の小山投手に単発の 4 安打 16 三振に抑えられた。

コロナ禍ではありますが、東西の優勝候補の試合には、たくさんのギャラリーが詰めかけていました。

今回のメンバーは、1.2 年生が多く本当に良い経験ができたと思います。優勝するために、という課題を岡山に持ち帰り、この冬、しっかりトレーニングを重ねてさらなるレベルアップを目指していきます。

たくさんのご父兄方も応援に駆けつけていただき、ありがとうございました。4 年生最後の大会に、しびれるような試合ができて下級生は良い経験ができたと思います。